

## 保育所等の定員・申込者の状況等の公表に関する知事コメント

令和7年4月1日時点の待機児童数（速報値）は、前年と比べて57人減少し過去最少の199人となりました。

また、保育所等の定員は340人分増の約12万4千7百人、利用申込者数は635人減の約11万8千4百人となりました。

結果としては、利用申込者数が減少している地域ではそれに応じて定員を減らし、増加している地域では定員を増やすという各地域の保育需要に応じた適切な対応が進められたものと考えられます。

しかしながら、都市部を中心に一部市町では依然として待機児童が発生していることから、今後も、地域で異なる保育事情を中長期的に見極めつつ、早期の待機児童の解消に努めていかなければいけません。また、人口減少地域においては、保育の提供体制を維持・継続していくという観点から、地域の多様なニーズへの対応や経営の安定化なども見すえた保育所の多機能化などの検討を進めていく必要があります。

保育人材の確保と定着も重要な課題です。県では、保育士就職フェアの複数開催や、「保育士・保育所支援センター」を活用した再就職支援、処遇改善につながるキャリアアップ研修などに取り組むとともに、今年度からは新たに高校生の保育体験事業を通じた将来の保育人材確保に努めます。

今後とも、市町や保育関係者の皆様と連携しながら、保育定員の拡大、保育人材・保育の質の確保など、子どもを産み、育てやすい兵庫づくりをしっかりと進めてまいります。

令和7年7月3日

兵庫県知事 齋藤元彦